

スクールマネジメント実践報告書

106 直江津中学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	○目標をもって自ら学ぶ子 ○互いに認め合い高め合う子 ○自らを律し心と体を鍛える子
我が校の目指す子ども像	お互いに認め合い、自ら学び、自らを律し、社会に貢献しようとする生徒



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
<p>・国語、数学、英語を中心とした授業公開を実施する。</p> <p>・小学校の授業を積極的に参観し、授業改善に生かすことで小中の授業のギャップを小さくする。</p>	<p>中学校区の全ての教職員が「教育課程」、「学力向上」、「特別支援教育」、「人権、同和教育」、「生徒指導」の5つの部会に分かれて、情報交換と実践の共有を行っている。</p>
成果○と課題■	成果○と課題■
<p>○小学校の学習の様子を理解し、授業改善に生かすことができた。</p> <p>■校務等の都合で、計画的に授業を参観することができなかつた。次年度は、年度当初の計画に組み入れ、計画的に行えるようにする。</p>	<p>○中学校区の課題を明らかにするとともに、課題や実践を共有することができた。</p> <p>■実践内容の評価・検討を行うとともに、計画的に取り組むことができるようにする。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
<p>コロナ禍の中、計画していた活動を削減、変更しながら、当校のスクールポリシーである「いざ世のために」の実現に向け、また、自己の生き方を考え、夢や目標の実現に向けて取り組む活動を行った。</p> <p>体験活動や専門の技術を経験することを通して、自己を見つめ直し、自己の生き方を考えるようになった。</p>	総合	地域探究学習「直江の津」（1年）
	総合	職業人に学ぶ「職業講話」（2年）
	総合	進路探究学習（3年）
<p>学校運営協議会の評価</p> <p>・地域とつながりをもちながら、一人一人の生徒が自らの課題に取り組むことができた。</p> <p>・地域の大人と関わることを通して、社会性を育むことができた。</p> <p>・地域の職業人と触れることで、ふるさと「直江津」への愛着と誇りを改めて感じる事ができた。</p>	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった。	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	2人	住民	7人	その他	4人	合計	14人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回(0)	2学期	1回(0)	3学期	1回(0)	合計	3回(0)
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回(0)	2学期	0回(0)	3学期	1回(1)	合計	1回(1)

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においては、教育活動の制限と効果を考えながら教育活動の見直しが必要になる。そのような現状について、委員の皆様からご理解を頂いた。 ・教育活動の成果や課題、学校評価を共有し、委員の皆様からは次年度に向けた取組の視点や具体的に支援いただけることについて提案を頂いた。 	<p>○令和4年度の教育活動に向けて、地域貢献活動の在り方や総合的な学習の時間の講師等について、学校を支援するための具体的な方策について協議を進めた。</p> <p>■ボランティア等、地域の協力が重要になってきている中で、地域にどの様に発信し、人材を確保していくかが課題である。</p>

総括
<p>コロナ禍における教育活動をどのように行い、教育の質の向上に向けてどのような地域が支援していくことが出来るのか、協議を深めることが出来た。令和4年度においては、地域の資源を生かして具体的な支援を行っていく。</p>

〈活動写真〉



○地域探究学習「直江の津」(1年) 直江津地区を中心に30を超える事業所や施設などを訪問し、校外学習を行いました。



○職業人に学ぶ「職業講話」(2年) 7業種のプロの方から、仕事をする上で大切にしていることなどをお聴きする「職業講話」を行いました。



○進路探求学習「鼓童公演会」(3年) なおえつ町おこし協議会のご協力を頂きながら、鼓童による演奏と職業に対する講演を行いました。